

## 1 板書で大切にする視点

- ①授業の進め方が可視化されている

授業グッズがふんだんに貼ってあり、前時の振り返りから本時のまとめまで分かりやすく示す。

- ②内容が全員で共有することができる

見通しの立て方、子供たちの考え方を板書してあるため、意見交流や考察がしやすい。

- ③本時のキーワード（重要語句）を明確にすることができます

本時で使う教科用語が掲示しており、その内容の理解ができるようになる。

## 2 ノートづくりで大切にしたい視点

- ①自分の考えや友達の考えを書き表す。

- ②一時間の流れがよくわかるようにする。後で見直しができるように大切なことを書く。

- ③グループで出た意見、全体で出た意見もノートに書く。1時間で書いたことは、消さない。

## 3 板書やノートには書き方パターンがある

板書やノートには、基本的なパターンがある。学年が変わっても書き方パターンは変わらないが、ノートは、より発展したノートに変わっていく。

## 4 子供の思考の流れがよく分かる板書

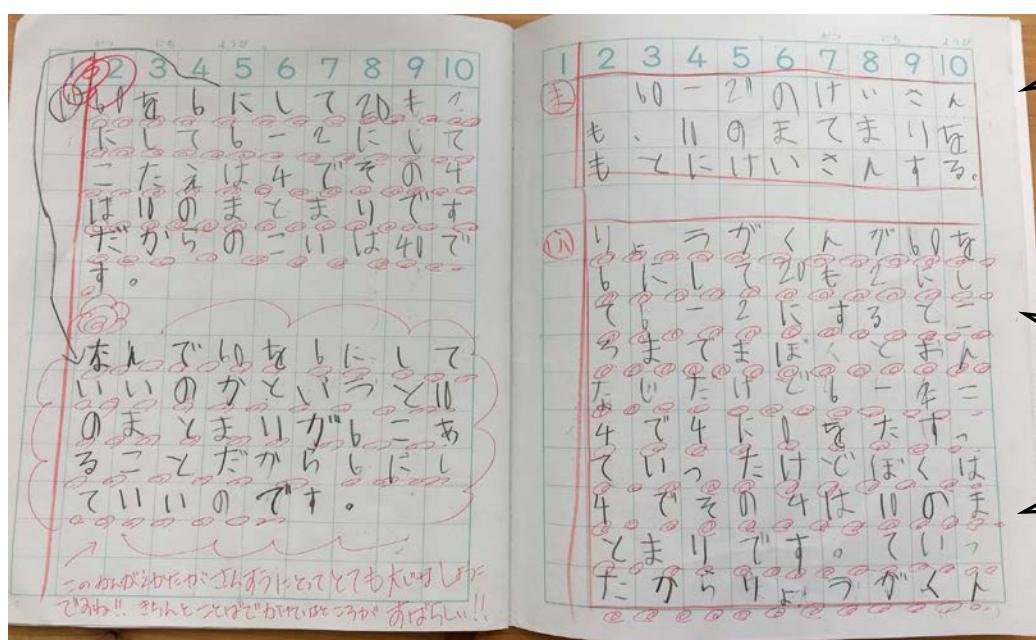


板書くグッズを貼る  
授業の流れを視角化  
付けるべき力の掲示

課題は赤囲み  
まとめは青囲み  
ネームプレート貼り

ホワイトボード貼り  
見通しの具体化  
算数系は3面仕切り

## 5 1時間の思考を整理し、事後に活用できるノート



基本見開き1ページ  
課題やまとめは板書  
と同じ色囲み

グッズを端に書く  
友達の意見も書く  
付け足しも書く

まとめは自分の言葉  
振り返りは視点で  
課題とまとめの整合

